

令和6年度 八千代市立八千代台西小学校グランドデザイン

学校教育目標

未来に生きる体力・学力・耐力をもった子ども～目指す児童像 輝ける子ども～

本年度特に育成を目指す資質・能力

わかりやすく伝え合う力

何ができるようになるか

学びに向かう力 友だちの考えを受け入れ、自分の考えを発展させ、表現できる。

知識及び技能 習得した知識を活用して自分の考えを伝えたり、相手の考えを理解したりすることができる。

思考力・判断力・表現力 相手がわかるように自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたりすることができる。

何が身に付いたか 編成・実施・評価・改善の視点

学びを人生や社会に生かそうとする
「学びに向かう力・人間性」

生きて働く「知識・技能」

未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」

子どもの発達をどのように支援するか

学年・学級経営の充実

生徒指導の充実

個別最適な学び
協働的な学び
の一体的な指導の充実

特別な配慮を必要とする児童への指導の充実

何を学ぶか(教育課程の編成)

- ・教科横断的な視点に立ったカリキュラムマネジメント
→生活科・総合的な学習の時間を核として
- ・SDGsを達成するためのESDの推進
→持続可能な社会の担い手を育む
- ・社会の変化に対応できる資質能力の育成
～「わかりやすく伝え合う力」の育成を通して
- ・「社会に開かれた教育課程」という理念の実現
→保護者・地域と理念を共有

どのように学ぶか(教育課程の実施)

- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善
- ・ESDの視点に立った能力・態度を重視した学習指導
- ・教科横断的な学びの実施
各教科との関連を意識した資質・能力の活用
- ・個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実
- ・自分もよい みんなもよい(ウエルビーイング)

実施するために何が必要か

- ・学習指導要領の趣旨を理解した授業づくり
- ・学習規律の統一(八千代台西小学校学びのスタンダード)
- ・地域の人材・物的資源の発掘と連携
- ・学校・家庭・地域の目的の共有と連携
- ・学校評価をもとにした教育課程の改善